

(一八三七)
天保八年十月 旗本菅谷氏の年貢仕法替えにつき請書

[B]

奉_ニ差上_一御請書之事

一 今般、私共村方御旧知戻被_ニ 仰付_一候_ニ付、当酉田方御取箇之儀、以来御検見入可_レ被_ニ 仰付_一、万端小栗又一様御知行所権田村同様御取箇可_レ被_ニ 仰付_一旨、被_ニ 仰渡_一候

一 御年貢米之儀、当酉年_方廻米被_ニ 仰付_一候_節者、御料所御作法之通、道法五里者村役_ニ而附出シ、其余者運賃米者可_レ被_ニ 下置_一旨、被_ニ 仰渡_一候

一 御家法之儀、追々御取調御沙汰被_ニ 仰付_一候_迄者、都而村内村内取締方其外共、山本大膳様江御預ケ中之通可_ニ相心得_一旨、被_ニ 仰渡_一候

一 村内格別之窮民有_レ之候ハ、取調可_ニ申立_一候旨、被_ニ 仰渡_一候

一 山本大膳様_方被_ニ 仰送_一候救助錢下知書、并請証文写とも可_ニ 差出_一旨、被_ニ 仰渡_一候

右之趣被_ニ 仰付_一候間、可_レ得_ニ其意_一旨、被_ニ 仰渡_一候
前書被_ニ 仰渡_一之趣、承知 奉_レ畏 候、仍_ニ而之_一御請書奉_ニ差上_一候、已上

御知行所

上 碓氷郡

水沼村

天保八酉年十月五日

御地頭所様

御役場

名主次右衛門 煩_ニ付代

名主見習

代 次 郎

年 寄

藤 兵 衛